



七戸の 議会だより

2021年
NO. 66

令和3年11月1日発行
青森県七戸町議会
広報編集特別委員会



～ 盛り上がる！コロナ禍逆手に新スタイル

七戸中学校「文化祭」 天間林中学校「合唱・ステージ発表会」～

七戸中学校では10月15日、テーマ「史上最響^{しじょうさいきょう}～君の才能が輝く瞬間^{とき}～」と題した文化祭、天間林中学校では10月16日、テーマ「飛躍^{とび}～未来への希望 一人一人が輝く舞台に～」と題した合唱・ステージ発表会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で学校行事の縮小が続く中、両校とも感染症対策を十分にとり、生徒が一体となって学校での思いで作りを楽しんでいました。

9 月 定 例 会

定例会・臨時会の主な審議内容……………	2～3
決算審査特別委員会……………	4～5
議会全員協議会（災害報告）……………	6～7
一般質問に4人登壇……………	8
委員会の動き……………	14

9月 定例会

主な審議内容

議案

○個人情報保護条例の一部改正

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布に伴い、同法の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○コミュニティセンター設置条例の一部改正

鶴見平会館の老朽化に伴い、施設を解体、廃止するため、条例を

令和3年第3回定例会は9月3日に開会し、白石洋議会運営委員長の報告のとおり、会期を13日までの11日間と決定しました。

3日は、今定例会に上程された議案について町長の提案理由説明、7日は一般質問（4人）、9日・10日は決算審査特別委員会、最終日の13日は議案審議を行いました。

提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決し閉会しました。

改正するものです。

☆全会一致で可決

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

第8次地方分権一括法による災害弔慰金の支給等に関する法律等の一部改正に伴い、同法等の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正す

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

る内閣府令の公布に伴い、同府令の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、同省令の改正内容に準じて、条例を改正するものです。

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○七戸町過疎地域持続的発展計画の策定

過疎地域の持続的発展に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第8条第

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

1項の規定により、計画を策定するものです。

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○令和3年度補正予算（下表参照）

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

○令和2年度七戸町各会計歳入歳出決算の認定

（4項5項参照）

☆全会一致で可決

☆全会一致で可決

報告

○専決処分事項の報告

《令和3年度予算関係》

・一般会計補正予算（第5号）

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

☆全会一致で承認

○令和2年度決算に基づく七戸町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

☆報告

☆報告

○令和2年度七戸町一般会計継続費精算の報告

☆報告

請願

○日米地位協定の抜本的見直しに関する請願

☆採択

☆採択

発議

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書の提出

☆原案可決

☆原案可決

○日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書の提出

☆原案可決

☆原案可決

令和3年度 9月補正予算

区分	補正額	予算総額	一般会計補正予算
一般会計	5,326万2千円	103億2,326万6千円	歳入の主なもの
国民健康保険	▲3,558万3千円	18億1,972万2千円	地方交付税 4億6,972万6千円
特別会計	459万9千円	4億2,184万7千円	財政調整基金繰入金 ▲5億2,657万8千円
介護保険	3,424万8千円	27億1,815万8千円	歳出の主なもの
介護サービス事業	0千円	536万5千円	ゼロカーボン推進計画等策定支援業務委託料 308万0千円
七戸霊園事業	288万2千円	1,061万2千円	結婚新生活支援事業費補助金 ▲330万0千円
公共下水道事業	805万0千円	4億0,094万3千円	除雪作業業務委託料 3,400万0千円
農業集落排水事業	0千円	7,228万3千円	道路維持修繕工事費 3,003万6千円
水道事業会計	収益的収入 5万9千円	3億3,536万0千円	
	収益的支出 64万2千円	3億0,284万3千円	

令和2年度決算額

区分	収入	支出	差引残額
一般会計	13,302,045,840円	13,071,312,440円	230,733,400円
国民健康保険	1,907,623,495円	1,869,322,370円	38,301,125円
後期高齢者医療	412,145,953円	406,852,083円	5,293,870円
介護保険	2,674,331,887円	2,582,271,682円	92,060,205円
介護サービス事業	4,041,484円	2,049,189円	1,992,295円
七戸霊園事業	2,023,643円	2,018,009円	5,634円
公共下水道事業	437,595,714円	423,851,237円	13,744,477円
農業集落排水事業	70,804,982円	70,489,600円	315,382円
水道事業会計収益的収支(税抜)	325,836,118円	273,496,594円	52,339,524円

○工事請負契約の締結

○工事請負契約の締結
 (荒熊内地区調整池整備工事)
 荒熊内地区調整池整備工事の契約のため、議会の議決を求めるものです。
 ☆全会一致で可決

○工事請負契約の締結

○工事請負契約の締結
 (荒熊内地区調整池整備工事)
 荒熊内地区調整池整備工事の契約のため、議会の議決を求めるものです。
 ☆全会一致で可決

○手数料条例の改正

議案

○手数料条例の改正
 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の規定による、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、同法等の改正内容に準じて、条例を改正するものです。
 ☆全会一致で可決

第2回
 臨時会
 令和3年7月7日

報告

○専決処分事項の報告

○専決処分事項の報告
 ・落雪事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて (報告29号)
 ☆全会一致で承認
 ・自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて (報告30号)
 ☆全会一致で承認

○工事請負契約の締結

○工事請負契約の締結
 (蛇坂団地建築工事第2工区)
 蛇坂団地建築工事(第1工区)契約のため、議会の議決を求めるものです。
 ☆全会一致で可決

「教えて! にんに君」コーナー

皆さん、こんにちは。議会についての? (はてな) をにんに君が毎回わかりやすく解説していきます。

「教えて! にんに君」 Vol.4 「議会ではどのように話し合っているの?」

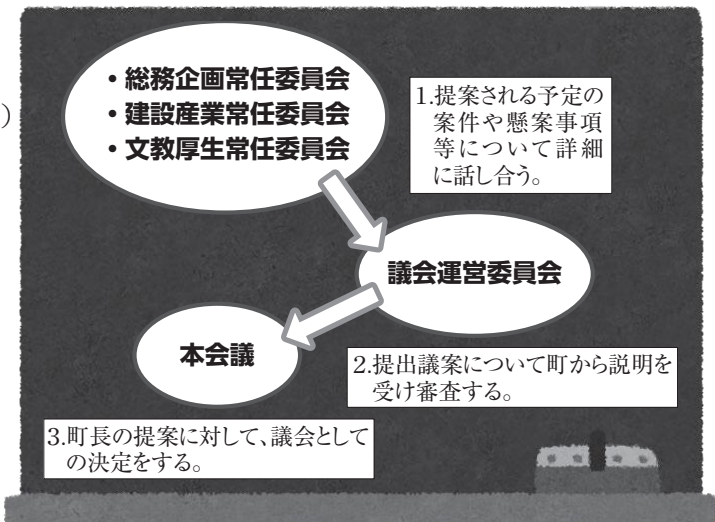
今回は、町長が提案した内容を議会がどのように話し合っているのかお話しします。

議会で行われる会議には、議員全員が集まって議会の考えを決定する「本会議」と、いくつかのグループに分かれて話し合う「委員会」があります。

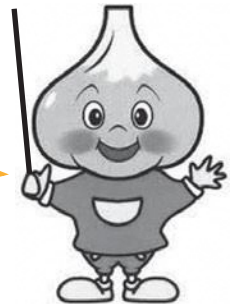
(議会での決定までの流れ)

具体的に、七戸町の場合を紹介します。

1. まず、議会開会前に総務企画常任委員会、建設産業常任委員会、文教厚生常任委員会が行われます。これは、議会に提案される予定の案件や懸案事項等について町から説明を受け、疑問点を尋ねたり意見を出し合ったりします。
2. 常任委員会で話し合ったあと、議会運営委員会が行われます。ここでは、提出議案について町から説明を受け、審査をして、問題がなければ議会に提案されます。
3. そして議会が開会し、本会議で町長の提案に対して「議会としての決定」をします。



詳細な話し合いをするのが「委員会です」。
 議会の考えを決定するのが「本会議です」。



このように、町議会では町長の幅広い提案に対して、合理的で効率的な話し合いができるように取り組んでいます。

令和2年度 各会計歳入歳出決算

一般会計歳出総額

130億7,131万円の使い道

7特別会計・水道事業会計を

認定

令和2年度の一般会計、特別会計の決算を審査する決算審査特別委員会（澤田公勇委員長、委員14人）が9月9日、10日に開かれました。

審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑の一部（一般会計のみ）を要約してお知らせします。

決算審査

特別委員会報告

委員長

澤田公勇



副委員長

中野正章



9月議会に提案された令和2年度一般会計・特別会計の決算認定は、審査の精度を高めるため、議長を除く全議員をもって構成した決算審査特別委員会を設置し、それぞれの担当部署から説明を受け慎重審査をいたしました。その結果、新型コロナウイルス感染症対策等、多くの質疑がありました。厳しい財政状況の中でも健全かつ適正に予算が執行されていることを確認し、原案のとおり認定しました。

〇歳入

町税について

田嶋輝雄委員

不納欠損、収入未済額の対応策は。

町屋税務課長

これまでどおり納税相談に力を入れていきたいと考えております。

道の駅施設使用料について

附田俊仁委員

使用料の内訳は。

附田商工観光課長

おもに産直の施設使用料です。ちなみに産直に係る歳入歳出差引で800万円ほどプラスになっております。

臨時財政対策債について

岡村茂雄委員

償還の内容は。

附田財政課長
地方交付税で措置されており

〇歳出

七戸十和田奥入瀬シャトルバス運行事業費負担金について

山本泰一委員

事業の今後の方針は。

金見企画調整課長

コロナの影響もあり利用者は減少しております。コロナ終息時に利用状況をみながら検討したいと考えております。

交通路線維持費補助金について

田嶋輝雄委員

補助金の内容は。

金見企画調整課長
十和田観光電鉄への運行経費支援などの補助金です。

しちのへ移住サポートの会活動費補助金について

佐々木寿夫委員

当初予算より減額になっている理由と令和3年度予算の内容は。

金見企画調整課長
コロナ禍により事業ができなかったということ、令和3年度は、会が自立したということに合わせた予算になっております。

健康診査等委託料について

佐々木寿夫委員

監査委員審査意見



代表監査委員 吉川 正 純

審査に付された各決算は、関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、計数において誤りがなく、法令規則に基づいて適切に処理されているものと認められました。

財政運営において重要な、自主財源である町税及び税外収入全般における徴収率は、徴収体制の強化策等により、徴収率の向上が見受けられました。コロナ禍により税収等の増加が見込めないなか、補助金などを積極的に活用しているほか、滞納整理対策を強化するなど、職員が一丸となって財源確保に取り組んでいることは評価できるものです。今後も、賦課徴収の公平性の観点からも徴収率向上に、より一層取り組んでいただきたいと思います。

一方、経常収支比率が示すとおり、財政構造の硬直化は進んでおり、今後予定されている大型事業等を考慮すると、新たな行政需要の発生や経済変動に対処できなくなる恐れがありますので、抜本的な構造改革とこれまで以上に慎重な財政運営が望まれます。

次に財政健全化・経営健全化判断比率については、その基準を下回っていることを確認しました。現在の数値は、県内でも上位に位置しておりますが、今後、歳入面については確実に減少し、歳出面については町の大型事業等の計画もあり、確実に係数の悪化が見込まれますので、計画的で健全な財政運営が求められます。

当初予算より大幅に減額になっている理由は。

答 井上健康福祉課長
コロナ対策により、人数制限などをしたためです。

バラ改植促進事業費補助金について

問 中野 正章委員
バラ改植は毎年必要なのか。

答 鳥谷部 農林課長

バラは8年から10年で摘み取ることができなくなるため、定期的に改植しております。

農業センター指定管理業務委託料について

問 三上 正二委員
指定管理業務として契約している業務内容は。

答 鳥谷部 農林課長

公園一帯の管理、建物等の管理、ハウスのバラの栽培です。

野菜生産力向上対策事業費補助金について

問 佐々木 寿夫委員
当初予算より大幅に減額になっている理由は。

答 鳥谷部 農林課長
農協への補助はおおむね計画どおりでしたが、

農家に対する補助、機械等に対する補助に対しては計画より希望する農家が少なかつたということ

です。

新規就農者定着化支援事業費補助金について

問 市 清悦委員
新規就農者に対しての対応と状況は。

答 鳥谷部 農林課長

農林課に相談にくる方の多くは、自分で農業に取り組みたいというかと、若干ですが後継者の相談もあります。この補助金は町独自で、最大年50万円の補助金を設けて対応している状況です。

問 山本 泰二委員

農業次世代人材投資事業費補助金との違いは。

答 鳥谷部 農林課長

新規就農者定着化支援事業費補助金は町独自の事業で年最大50万円、農業次世代人材投資事業費補助金については国の事業で年最大150万円です。

七戸観光協会事業費補助金について

問 山本 泰二委員

令和2年度の事業内容は。

答 附田 商工観光課長

公益事業として、秋まつり運営の事務局、総合案内所等の運営。収益事業については、自分たちの創意工夫により収益が見込める事業、例えばレールバスや家族旅行村等の付帯事業等です。

駅周辺施設管理費における委託料について

問 山本 泰二委員

駅周辺を管理するために各種業務を委託しておりますが、収支はどのようなになっているか。

答 附田 商工観光課長

令和2年度はコロナの影響があったとは言え、駐車料金収入から各種委託料を差し引いても、1000万円以上の収益があります。

通行止予告看板用ソーラーライト等購入費について

問 小坂 義貞委員

設置場所は。

答 氣田 建設課長

昨年の冬期間、石沢・後平線に設置しております。

調査測量設計委託料について

問 佐々木 寿夫委員

当初予算より大幅に減額になっている理由は。

答 氣田 建設課長

橋梁点検などの調査測量等の入札減が大きな理由です。

学校用務員業務委託料について

問 市 清悦委員

業務委託ではなく、会計年度任用職員で対応したほうが。

答 鳥谷部 学務課長

教師、児童生徒からの信頼性、業務に精通していることが望まれるため業務委託としております。

問 三上 正二委員
会計年度任用職員で対応することを検討したか。

答 鳥谷部 学務課長
検討しておりませんでしたが。

より良い町づくりのために 生かせ提言

特集



七戸 倉岡川目地区

田嶋 輝雄議員
このような災害でとても重要だと思つもの一つに、正しい情報を伝えるということだと考えます。当町には防災無線がありますが、屋外の場合、聞こえづらい地域もあります。この機会に防災無線機の設置や使い方について再考していただきたいと思つております。また、地域の自主防災にもやはり取り組んでいかなければと改めて思いました。



天間林 川口地区

被害がありませんでした。これをいい教訓としていろいろ検証し、準備を進めていきます。

町長
かつて体験したことのない大雨による被害でありました。そこで、こういった状況を踏まえ、対策や対応がありますが、防災関係の組織のあり方、避難指示や避難所開設など、課題がたくさんあります。今回は、幸い人的

小坂 義貞議員
建設産業常任委員会では、災害現地視察を行いました。川の氾濫、水田に土砂等が流出した様子を見て、改めて被害の凄さを実感しました。天間林地区では、数日間、断水になりましたが、浄水場を増やす検討をしております。かと思つております。

山本 泰二議員
今回の災害では、私も避難所の状況を見て回りました。最初に朝8時頃、柏葉館に行つたのですが、まだ準備ができていませんでした。そのあと七戸小学校、城南小学校、七戸中学校へ行きましたが、やはり準備ができていませんでした。今回が初めてということ、思うよ



七戸 新川原橋

総務課長
今回の災害では、防災無線で放送した内容をSNSでも情報発信しておりましたが、さらなる充実が必要と感じております。今後は、防災無線やSNSなど、全てのものを洗い出し、緊急性、必要性をどのように配信していくのか、検討いたします。



異常気象から町を守れ！

第3回議会全員協議会が9月3日に開かれました。内容は、「8月9日からの大雨に係る災害の報告」、「過疎地域持続的発展計画策定」、「ゼロカーボン推進計画」、「新型コロナウイルス感染症接種状況報告」についての説明がありました。各報告等について、皆さんの意見や要望が出された中から、特に大雨による災害についてを一部要約してお知らせします。

うにいかなかった部分もあると思いますが、今後の改善点として、迅速な対応をしていただきたいと思つています。

それから、町内を広報車が走っており、避難してくださいということをお願いいたします。放送内容は、飲料水やタオルなどを持って避難所へという文言がありました。これでは緊急性が伝わらないと思つています。最近のところは考えていただきたいと思つています。最近ではSNSを積極的に活用し、情報を発信しておりますが、今回の災害時に、防災無線とSNS、どのように活用したのか伺います。

岡村 茂雄議員

今回の災害は、町民の皆さんもどう行動すればいいのかわからない状態だったと思います。今後のために十分時間をかけて検討していただきたいと思っています。

そこで気づいたことを二つ。一つは、避難対応です。ひとり暮らしの高齢者、190名ほどおりますが、安否確認をした10名に水を配ったとあります。このような対応で良かったのか。避難指示が出た場所には、車いすの方、高齢者など、たくさんおりました。もう少し対応を考えていただきたい。二つ目は、ハザードマップです。最初、柏葉館が避難場所という



給水所 (白石コミュニティーセンター)

ハザードマップの件ですが、まちなかエリアは非常に微妙でありまして、南公民館は、浸水するエリアです。柏葉館は、一部、大丈夫なエリアになっているのですが、今回は安全を期して七戸小学校へ移動いたしました。

総務課長



天間林 道ノ上・鳥谷部線



天間林 向中野地区

小坂 義貞議員

水害と同時に、大雨の関係で気温が一気に下がります。不稔被害を考えられます。町の対応を伺います。

農林課長

自然災害等によって発生する低温被害、不稔というものについては、この大雨の冠水したものとあわせて、共済組合で町全域の被害調査を実施するという事です。

附田 俊仁議員

災害は、ところ選ばず、時選ばず。それに対応する計画なるものをつくるのですが、絵に描いた餅でしかないということとわからないかならぬと思います。一番大事なのは人命であり、人命救助第一に、優先順位を決めて動く。また、自分で考え行動しなければという意識づけも大切だと考えております。コロナ禍で、防災訓練等ができない状況ですが、コロナも含め訓練というものを常に意識づけしていくことが大事だという

ことを今回すごく痛感しました。町民への防災・災害の意識づけを要望いたします。



給水所 (天間林中学校)

佐々木 寿夫議員

今回の大雨で土砂崩れ等により道路が壊れたり、これからさまざまな復旧工事が始まると思います。その財源は町が全部負担するのですか。

建設課長

今までにない国の高率の補助になるのではないかと思っております。

白石 洋議員

9日の朝、災害対策本部、総務課の様子を2時間ほど拝見しておりました。情報収集や、もちろん電話はすべて鳴りっぱなしで職員の方々と、とても一生懸命に対応しておりました。そこで今回とても貴重な経験をしたわけですが、気になったことをお話しします。今回の災害で情報の伝達として、改めて防災無線の重要性を強く思いました。過去には、防災無線がうるさいとか聞こえないというところもありました。情報を伝える手段として、やはり防災無線がとても重要です。あとは正確にわかりやすく、内容を検

建設産業常任委員会 災害被災地視察

8月23日に建設産業常任委員会を開催し、豪雨による被害の大きかった「倉岡川目地区」、「川口地区」の現地視察を行い、被害状況について説明を受けました。また、「天間林第一浄水場」と「小坪川取水口」も現地視察し、断水の原因等の説明を受けました。

今後、被災状況等の調査・研究を行い、町民の安全と利便性の向上のため、積極的に取り組んでいきます。

建設産業常任委員会 委員長 附田俊仁



小坪川取水口

討していただきたい。今回の川の氾濫、急激な増水は、山林の伐採も少なからず影響があったのではないかと感じております。営林署へ町長から山林の伐採についての見直しや植林の要請をしていただきたい。

住みよいまちづくりのために



町政のここが聞きたい

一般質問

9月定例会では、4人の議員から34件の一般質問がおこなわれ、二ツ森貝塚世界遺産登録における今後の課題やコロナ禍における教育環境についてなど、活発な議論が展開されました。

「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であり、年4回の定例会で行われます。

質問する議員も受ける執行機関も、ともに十分な準備が必要であるため、通告制※が採用されています。

議員が行財政全般にわたり、事務の執行状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策の確認、変更、是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※通告制とは、発言等をする場合、あらかじめ議長に対し発言要旨などを記載した文書を提出することです。

ページ	質問者	主な質問項目
10	佐々木 寿夫 議員	<p>◎二ツ森貝塚世界遺産登録の今後の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録の意義は。 世界遺産登録によって町にどのような権利と義務が発生するか。 今後、新たな発掘は。 世界遺産登録を町民のものとするため、町は何に取り組むか。 二ツ森貝塚の素晴らしさを町外にどのように発信していくか。 <p>◎小・中学校のいじめ、不登校について</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の小・中学校のいじめ、不登校の実態は。 いじめや不登校に対して、どのように対処しているか。 <p>◎小・中学校のジェンダー平等教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女混合名簿を使用する考えは。 生理用品を無償化し、女子トイレに置く考えは。 <p>◎庁舎の職場環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本庁舎、支所の2階にエアコンを設置する考えは。

ページ	質問者	主な質問項目
11	山本 泰二 議員	<p>◎コロナ禍における教育環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍において、子供たちの学力、運動能力、情緒等の変化は。 ・就学困難、差別、いじめ等の訴えは。 ・日常的にマスクを着けて学習活動を行うことに困難はないか。 ・教職員および児童生徒に、透明マスクを配布する考えは。 <p>◎二ツ森貝塚の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二ツ森貝塚が世界遺産に登録されたことにより、来町者数に変化があるか。 ・二ツ森貝塚の活用を町内の事業者呼び掛けては。 ・近隣市町村と連携して、貝塚を中心とした地域おこしを行う考えは。 <p>◎高齢者の交通安全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の高齢者の運転免許証の返納状況は。 ・高齢者の運転免許証返納者に対する支援を拡充する考えは。 ・高齢者に対して、ドライブレコーダー保険加入の補助をする考えは。
12	向中野 幸八 議員	<p>◎町内の消火栓及び防火水槽設備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の消火栓と防火水槽は、何カ所設置されているか。 ・現状の設備や保安全管理、特に冬期間の不具合についての懸念は。 ・消防署との連携は、どのような現状か。 ・75歳以上の独り暮らしの各家庭に、火災報知器1機を無料で設置する考えは。 <p>◎自動体外式除細動器（AED）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AEDは、町内の公的施設に何カ所設置しているか。 ・いままで使用された事例は。 ・今後、町としてAED関連の施策について、どのような対応を考えているか。 <p>◎当町の小・中学校における校則について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる不合理な校則などによる不登校の児童・生徒はいないか。 ・校則は全国的に見直しの機運が高まっているが、当町の現状は。 ・社会の常識、時代の進展に応じた校則の見直しの考えは。
13	疍 清悦 議員	<p>◎公共工事の予定価格について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事の予定価格の算出方法は。 ・予定価格の事前公表による弊害が生じた場合、速やかに適切な対応を行うようにとの通知がある。弊害が生じているかどうかの当町の判断基準とそれの場合の対応について。 <p>◎町民の雇用を守る方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争のない随意契約の継続が、当該事業者の競争力と雇用能力を低下させてきたように感じる。町民の雇用を守るためには、強い経営者の育成・誘致に力を入れるべきではないかと思うが、どのように考えているか。 ・「道の駅しちのへ」の運営において、町長が思い描く理想の運営と現在の運営にギャップがあるとすれば、どのような点か。また、それはどのように改善するか。

※一般質問は、制限時間50分、通告内容を1件ずつ発言して順番に質疑応答をしていく「一問一答方式」です。

ことばの
ヒント!

先生…今回は「開会・提案説明」について説明しよう。

学生…一般的に「開会口」と言われていますよね。


先生…そのとおり。開会日でははじめに議会の会期について決定します。続いて、町長が本会議に提案する議案の概要を全議員に対して説明します。そのほか、町議会に提出された請願がある場合、そちらを担当する委員会に付託※しています。

※ 付託とは、審査を担当する委員会にゆだねることを言います。

定例会での主な感染症対策

- ・会議室入出時の手指消毒、マスク着用
- ・ドアや窓を開放しての会議室の換気
- ・傍聴者に感染症対策への協力を要請
- ・風邪症状がある場合の会議出席自粛

但し、議長が許可する場合は、この限りではありません。例えば、騒音による窓の開閉、壇上や質問者席でのマスクの着脱等。



世界遺産登録を町民のものにするために町は何に取り組むか

佐々木寿夫 議員



一問一答方式

「わが町の宝」といった考えが浸透するように遺跡に関わるイベント等、官民学一体となって取り組む

教育長

議員 北海道、青森県、秋田県は、世界自然遺産の「知床」や「白神山地」など、美しい自然がいまなお色濃く残るところです。「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、この自然豊かな恵みを受けながら一万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した縄文時代の人々の生活と精神文化をいまに伝える重要な文化遺産です。その価値が認められ世界文化遺産に登録されました。縄文時代の人々の暮らしを現代に伝える遺跡群を保存し、未来へと確実に伝え地域の人人や全国の人々の誇りとなるような取り組みが今後の課題です。

二ツ森貝塚世界遺産登録の今後の課題について

議員 世界遺産登録の意義は。

教育長

世界遺産は、過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産であることから、保護・保存することが重要であると考えます。

議員

世界遺産登録によって、町に発生する権利と義務は。

教育長

世界文化遺産という資産を保有する権利を有し、保護・保存が義務であります。

議員

今後、新たな発掘は。

教育長

保護・保存の観点から発掘の調査とはいえ、現状に手を加えることによりはならないことから、現時点では実施の計画はありません。

議員

世界遺産登録を町民のものとするため、町は何に取り組むか。

教育長

二ツ森貝塚遺跡保存協力会や二ツ森貝塚ボランティアガイドの会、貝塚や二ツ森の地域の方々、二ツ森貝塚を応援してくださる方々、これらの支援団体や地元の方々を中心に、町民が「わが町の宝」を守り伝えていくといった考えが浸透するように、遺跡に関わるイベントなどを官民学一体となつて取り組んでまいります。

議員

二ツ森貝塚のすばらしさを町外にどのように発信していくか。

教育長

町のSNSなどを活用し、二ツ森貝塚や二ツ森貝塚館の情報を随時発信してまいります。

議員

小・中学校のいじめ、不登校について

教育長

小・中学校のジェンダー平等教育について

議員

町内の小中学校のいじめ、不登校の実態は。

め、不登校の実態は。

教育長

認知件数について、令和2年度は、小学校28件、中学校10件の計38件です。令和元年度は、小学校34件、中学校30件の計64件で、比較しますと26件の減少となっております。

議員

いじめや不登校に対して町ではどのように対処しているか。

教育長

教職員が、いじめられた側、いじめた側、双方の児童生徒から経緯や心情の聞き取りを行い、良好な関係に向かうよう指導をしながら数カ月間の経過観察を行っております。不登校生徒の対応については、教職員による定期的な家庭訪問、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる面談など、生徒個々の実情に応じた対応を行っております。

議員 男女混合名簿を使用する考えは。

教育長

各学校と教育委員会で十分検証し、保護者の理解のもとで導入することも考えてまいります。

議員

生理用品を無償化し、女子トイレに置く考えは。

教育長

トイレの備え付けが必要であると判断した場合には、各学校において保健室で管理している分をトイレに備え付けすることも可能であると考えております。

庁舎の職場環境について

議員

本庁舎と支所の2階にエアコン設置の考えは。

町長

職場環境の改善を図るためにも設置に向け検討してまいります。

コロナ禍において、子供たちの 学力、運動能力、情緒等に変化は

山本 泰二 議員



一問一答方式

教育長

授業や学校生活を工夫して対応 学力や運動能力に大きな変化はない

議員

全国的にも感染者が増加しており、緊急事態宣言適用都道府県は21に上り、まん延防止等重点措置適用地域は12県に及んでいます。青森県もこの拡大の波の中、いつ緊急事態宣言の対象とされてもおかしくない状況になっています。

当町でも、公共施設の利用制限や学校等における行事の制限、外部との接触機会の削減が求められており、子供たちがこれまで当たり前のよう接受的に受けることができたさまざまな教育の機会が失われつつあります。子供たちが心に受けるダメージは相当大きいと推察され、何らかの形でケアが必要であると考えます。

コロナ禍における 教育環境について

議員

新型コロナウイルス禍において、子供たちの学力、運動能力、情緒等に変化はあったか。

教育長

学校では、長期休業中に休校日を設けたり、ウイルス感染予防策のため、授業や学校生活を工夫して対応するなど、児童・生徒の学びを確保するため尽力しており、学力や運動能力は、コロナ禍以前と比べても大きな変化はないものと考えております。

議員

就学困難、差別、いじめ等の訴えはないか。

教育長

学校では、いじめや差別に関し十分に指導していることや、コロナ禍を要因としたいじめに関する報告書の提出や電話等による学校からの報告や相談もございません。

議員

日常的にマスクを着けて学習活動を行うことに

困難はないか。

教育長

一番身近な感染予防策は、マスクやマウスシールドであると考えておりますが、難聴特別支援学級を有する学校もございません。授業内容に応じ、教員の口元や表情が読み取れるよう工夫し、授業を行うております。

議員

教職員及び児童・生徒に透明マスクを配布する考えはないか。

教育長

現時点においては、透明マスクの一律配付は考えておりませんが、文部科学省の検証結果を踏まえ、学校からの意見や要望を取りまとめ、検討したいと考えております。

二ツ森貝塚の活用について

議員

二ツ森貝塚が世界遺産に登録されたことにより、来町者数に変化があったか。

町長

4月から8月までの二ツ

森貝塚館の町外からの来館者数は、約2700人であり、世界遺産登録されたことによる来町者の増加ということになると考えております。

議員

二ツ森貝塚の活用を町内の事業者に呼び掛けてはどうか。

町長

事業者については、商工会をとおして活用を促したいと思っております。ロゴマークのデータを渡し、会議資料や印刷物など、ささいなことからも広く利用していただければ周知してまいります。

議員

近隣市町村と連携して、貝塚を中心とした地域おこしを行う考えは。

町長

現時点では、上十三・十和田湖広域定住自立圏域で連携した取り組みは行われておりませんが、圏域内に存在する文化施設等を周遊するような取り組みを圏域市町村に提案したいと考えております。

高齢者の交通安全について

議員

町民の高齢者の運転免許証の返納状況は。

町長

七戸警察署交通課に照会したところ、平成30年度62件、平成31年度76件、令和2年度63件とのことですので。

議員

高齢者の運転免許証返納者に対する支援を拡充する考えは。

町長

これまで困り事やバス券の不足など、余り相談はございませんでしたが、免許返納者の利便性の確保に努めてまいります。

議員

高齢者に対して、ドライバーレコーダー保険加入の補助をする考えは。

町長

ドライブレコーダーの導入は、事故時の対応等に非常に有利であると思っております。今後、社会情勢に併せて適切に対応してまいります。

一般質問

社会の常識、時代の進展に応じた校則の見直しの考えは

向中野幸八 議員

学校と生徒会、双方の協働により校則を定めている
常に社会の常識、時代の進展に対応した見直しが
され運用されている

教育長

現在、防火水槽の減水が確認されている防火水槽が4カ所あり、漏水修繕工事に着手しております。

町長

防火水槽の現在の状態は。

議員
ます。

町長
消火栓は、七戸地区に183基、天間林地区に266基、計449基を設置しております。防火水槽は、七戸地区に34基、天間林地区に96基、計130基を設置しております。

議員
当町の消火栓と防火水槽は何カ所設置されているか。

当町の消火栓及び防火水槽設備について



一問一答方式

議員
現状の設備や保全管理、特に冬期間の不具合についての懸念は。

町長

防火水利の保全管理については、中央消防署により点検を実施しております。また、冬期間の管理については、常備消防のほか、町消防団員による除雪等を実施しております。

議員
消防署との連携は。

町長

消防水利の点検時、不具合を発見した際は、中央消防署より随時報告を受け、その都度修繕を行っております。また、水利が工事等のため使用できなくなった場合など、中央消防署と連絡を取り合い、災害などの有事に備えて修繕などの対応しております。

議員
75歳以上の独り暮らしの各家庭に、1機の火災報知器を無料で設置する考えは。

町長

町では、社会福祉協議会等で実施している高齢者の独り暮らし世帯等を対象に、緊急時通報や火災報知器がセットになっている「あんしん電話」を設置し、高齢者の見守りを併せて強化してまいります。また、冬期間の管理については、常備消防のほか、町消防団員による除雪等を実施しております。

議員
状況であります。今後は、「あんしん電話」、火災報知器など、高齢者が安心して暮らせるように、十分検討して進めてまいります。また、職員に対し、消防本部で行っている講習会を活用しながら使用方の習得に努めていただくようにしていきたいと思っております。

町長

議員
AEDは、町内の公的施設に何カ所設置しているか。

町長

AEDは、本庁舎、七戸庁舎及び各小中学校ほか24カ所に設置しております。

議員
使用された事例は。

町長

七戸町管内でのAED使用については、中央消防署へ確認したところ、平成26年と29年、2件の事例があったということです。

議員

今後、町としてAED関連の施策について、どのような対応を考えているか。

町長

AEDが設置されていない公共施設については、施設の利用状況等を考え、設置の判断をしてみたいと思っております。また、職員に対し、消防本部で行っている講習会を活用しながら使用方の習得に努めていただくようにしていきたいと思っております。

小・中学校における校則について

議員

人権に関わる不合理な校則などによる不登校の児童・生徒はいないか。

教育長

教育委員会では各学校の「決まり」や「校則」に

人権を侵害するような項目はないこと、また、校則を要因とする不登校の児童・生徒はいないことを確認しております。

議員

校則は、全国的に見直しの機運が高まっているが、当町の現状は。

教育長

小学校においては、校則に準ずる学校生活の決まりを毎年見直ししております。中学校においては、生徒の意見を十分尊重し、双方の協働により校則を定めております。

議員

社会の常識、時代の進展に応じた校則の見直しの考えは。

教育長

学校における校則の策定については、学校と生徒会、双方の協働により定めていることから、常に社会の常識、時代の進展に対応した見直しが行われているものと考えております。

町民の雇用を守るための 強い経営者の育成・誘致は

町 清悦 議員



一問一答方式

町長

産直施設人材育成セミナーの内容を一層充実させていく

議員

今回は、競争入札による公共工事とそれとは対照的な公募によらない選定について質問したい。公共工事の予定価格の算出方法は。

町長

予定価格は、町が作成した設計書の積算金額と同額としています。設計書は、国土交通省土木工事積算基準表及び県の設計単価表等を基に合理的に施工・監督できるように、施工条件・施工管理・安全施工等に十分留意し積算しています。

議員

国の指針には、入札前に公表すると予定価格が目安となって競争が制限され、落札価格が高止まりになる等の弊害が生じ

た場合には、速やかに事前公表の取りやめを含む適切な対応を行うものとする」と記載されている。弊害が生じているかどうかの当町の判断基準とその場合の対応は。

町長

かつて予定価格の事前公表がない時代、これが大変な事件にもなりまして。こういったことを踏まえて総合的に判断した結果、町では入札価格の内訳書も提出させていることから、予定価格の事前公表による弊害はないものと考えています。

議員

もし弊害が生じた場合、国の指針に基づいて対処してまいります。
町民の雇用を守る方法について

の採用に関して何か条件を付けてきたか。

町長

7名減少は、青森店の閉鎖による現地採用パート従業員がほとんどです。町民以外の従業員及びパート従業員は、過去16年間で12名でした。

議員

雇用条件については、業務仕様書の中で、設置目的や地域での役割を考慮し、急な災害時に施設での災害対応が可能となる者としており、要望がない場合や臨時的に急な場合を除き、町民を第一優先に採用しています。

議員

長期間に及ぶ競争のない随意契約や、公募によらない指定管理者の選定が、雇用を守ることにならないという思いを一層強くしている。
町民の雇用を守るためには、強い経営者の育成と誘致に力を入れるべきではないかと感じているが、町長の考えは。
町長
3年前から産直施設人

材育成セミナーを開催し、産直施設関係者の意識改革に努めています。

この中には、経営者を対象としたトップセミナーも含まれていますので強い経営者の育成のため今後も内容を一層充実させていきたいと考えています。なお、経営者の誘致、ヘッドハンティングも一つの方法であると考えています。

議員

道の駅奥入瀬ろまんパークの奥入瀬麦酒館と味蔵館の民営化を進めた十和田市の動きを、町長はどう見ているか。
道の駅ちのへの指定管理者に、販路拡大による売上増加を求めるか。

町長

道の駅奥入瀬ろまんパークは、一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社が指定管理者ですが、両施設はテナントとして事業者を募集してきたが応募がなく、これまで公社が何とか運営してきたと聞いています。その経

緯から、本来の形になったものと捉えています。売上に関して特段要請はしていませんが、株式会社ですから当然営利を追求するということです。

ただし、本町の商業主義ではなく、公共施設の意義も念頭に置きながら運営して頂きたいと考えています。

議員

公募によらない選定でいきたいとの町長答弁が3年間は今のままでもやっていけるという誤った安心感を与えるのではないかと不安を抱く。
3年後は公募するかどうか考えはないか。

町長

次に公募するかしないかは今の時点では全く白紙です。
今後の実績を注視する必要がありますが、状況によっては一部を業務委託することも考えられます。
公募するということを選択肢は排除しないということをご理解頂きたい。

一般質問

委員会の動き

◎総務企画常任委員会

開催日 令和3年8月16日

案件 ① 9月定例会における各課懸案事項

- ② 令和2年度滞納状況及び不納欠損(町税、国民健康保険税、介護保険料)
- ③ 意見書提出依頼に係る取り扱い

内容 ① 各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

- ② 税務課長より説明を受け協議した。
- ③ 「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」について審査、議員発議で提出するものとした。

開催日 令和3年9月7日

案件 ① 請願の取り扱い

内容 ① 「日米地位協定の抜本的見直しに関する請願書」について審査し、採択すべきものとした。

◎建設産業常任委員会

開催日 令和3年8月19日

案件 ① 9月定例会における各課懸案事項

- ② 令和2年度滞納状況(住宅使用料、水道・下水道使用料)
- ① 各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

内容 ① 建設課長及び上下水道課長より説明を受け協議した。

- ② 建設課長及び上下水道課長より説明を受け協議した。

開催日 令和3年8月23日

案件 ① 災害被災地視察(7項下段参照)

◎文教厚生常任委員会

開催日 令和3年8月20日

案件 ① 9月定例会における各課懸案事項

- ② 令和2年度滞納状況(奨学資金貸付金・後期高齢者医療保険料)

内容 ① 各課長より懸案事項の説明を受け協議した。

- ② 学務課長、町民課長より説明を受け協議した。

◎議会運営委員会

開催日 令和3年8月24日

案件 ① 9月定例会の会期日程等

- ・ 提出議案について、総務課長、財政課長より提出議案等の説明を受け審査した。
- ・ 一般質問通告書について、質問内容等を審議した。
- ・ 請願等の取り扱いについて、請願1件を総務企画常任委員会へ付託、陳情2件を資料配布、発議1件を議案審議の日程で処理することにした。
- ・ 会期について、会期日程を審議した。
- ・ 決算審査特別委員会の運営方法について、運営方法を審議した。

◎議会全員協議会

開催日 令和3年9月3日

案件 ① 令和3年8月9日からの大雨に係る災害報告(6項・7項参照)

- ② 過疎地域持続的発展計画策定
- ③ ゼロカーボン推進計画策定
- ④ 新型コロナウイルスワクチン接種状況報告

☆文教厚生常任委員会 学校訪問

開催日 令和3年7月6日

案件 ① 学校訪問(天間林小学校・天間林中学校)

内容 各校長より学校経営の方針や重点目標等について説明を受けた。意見交換では、コロナ禍による児童生徒の生活状況等についてたくさんの意見交換が交わされた。



(天間林小学校での授業見学)

今年度は、天間林地区の小中学校の訪問でした。各校とも、児童・生徒の日常の学校生活の様子をうかがうことができました。両校長から学校の経営方針や特に力を入れている重点事項や目標も確認ができました。

今後、当委員会では、学校生活における安全、学力向上等に取組んでいきます。

文教厚生常任委員長

岡村 茂雄

編集後記

この夏、願望であった世界遺産に「史跡二ツ森貝塚」が登録決定しました。

これからは町民皆でこの世界遺産を町の宝とし、七戸町を全国へ発信していきましょう。

まだまだ終息が見えないコロナウイルス感染症ですが、いま一度、感染対策を見直し、予防に努

めましょう。これからも町民に議会活動を知っていただき、読みやすい紙面作りに努めていきます。

(二ツ森)

議会広報編集特別委員会

10月6日・13日 開催

委員長 山本 泰二

副委員長 佐々木 寿夫

委員 小坂 義貞

二ツ森 英樹

向中野 幸八

中野 正章